

2 社会の要請に応える体験活動等事業

エ 親子・幼児等を対象に自然体験や読書活動などに親しむ機会と場を提供する事業

令和6年度 佐賀・長崎地域ぐるみで「体験の風をおこそう」運動推進事業

タラッキーDAY キャンプ

～めざせ！自然マイスター！～

〔主催〕 国立諫早青少年自然の家

（企画・運営：佐賀・長崎地域ぐるみで「体験の風をおこそう運動」推進実行委員会）

〔期日〕 ①令和6年7月15日（月・祝）※荒天のため開催中止

②令和6年9月8日（日）

③令和6年11月10日（日）

〔活動場所〕 国立諫早青少年自然の家

〔参加者〕 各回 小学1～4年生

①開催中止

②児童25名（男子17名・女子8名）

③児童21名（男子16名・女子5名）

〔担当職員〕 貞方 貴衣、日高 由樹、小柳 響生、黒崎 碧

1) 事業の趣旨

非日常の中の自然に親しみ、年齢や性別に関係なく参加者が交流できるようにする。また、自分のことは自分ですることで児童一人ひとりの自立心を育てる。また、様々な活動を通して何事にも挑戦する力を培うことを目指す。

2) 目標

- ① 自然と仲良く！みんなと仲良く！
- ② 自分のことは自分でする！
- ③ チャレンジ！

3) 研修プログラム

②9月8日（日）	③11月10日（日）
9:30 受付	9:30 受付
10:00 開会式 仲良くなるゲーム【写真①】	10:00 開会式 仲良くなるゲーム
10:30 山歩き【写真②③】 ※保護者：子育て CAFE 昼食（持参）	10:30 ハイキング【写真④⑤】 昼食（持参）
15:00 閉会式	13:00 クラフト【写真⑥】
15:15 解散	15:00 閉会式 15:15 解散

4) 事業展開

① 仲良くなるゲーム



ボランティアを中心にアイスブレイクを行った。初めて会う人ばかりで緊張の顔をしていた参加者も、ゲームをするにつれて笑顔になり、参加者同士での会話も増えた。

② 山歩き



ミッションをクリアしながら、山歩きを行った。コースは険しい道のりだったが、参加者から「山歩き楽しかった!」「もっと歩きたい!」といった声が聞かれた。

③ 山歩き



ミッションで考えた班の名前を、ヤッホーポイントから全力で叫んだ。個性あふれる班名が山々にこだまし、参加者には達成感の笑顔が溢れていた。

④ ハイキング



自然環境学習館前の広場で「カモフラージュ」という活動を行った。自然の中にまぎれ込んだ人工物を探しながら、自然を観察することができた。

⑤ ハイキング



森の中で「落ち葉の窓」という活動を行った。天候が悪かったが、角度や光の当たり方を変え、植物の色の違いを見ることができ、自然を楽しむ様子が見られた。

⑥ クラフト活動



ハイキングで拾ってきた木の実や枝などを使って思い思いに工作を行った。各々楽しく作品作りを行うことができた。

5) 評価

① アンケート結果（事業全体に対する満足度）

	満足	やや満足	やや不満	不満
9月8日	60%	36%	4%	0%
11月10日	80%	20%	0%	0%

② 参加者の声

【9月8日】

保護者・帰ってきた息子が、楽しかった思い出話を延々としてくれました。

- ・子育てカフェでは、同じような悩みをお持ちの保護者の方ともお話しできて、心が軽くなりました。親子共々いい経験をさせていただき感謝です。

児童・また山に登ってみたい。

- ・キャンプが忙しくてついていくのが大変だった。

【11月10日】

- ・途中雨が降ったけど、とても楽しかった。
- ・ヤッホー気持ちよかった。
- ・意外と工作も楽しかった。

6) 成果と課題

① 成果

【9月8日】

- ・時間に余裕をもったプログラムを組んだことで、スタート時間が押したものの、急ぐことなく時間通り解散することができた。
- ・班ごとに行うミッションで自然に興味を持つ内容や、班ごとに協力する内容を組み込むことで、自然と参加者同士や参加者とボランティアの対話を促すことができた。
- ・子どもたちの「また山を歩きたい」という感想から、日帰りという短い時間の中でも、山歩きの中で山を歩く楽しさや、自然と触れ合う楽しさ、仲間と困難を乗り越える楽しさを感じたことがうかがえた。

② 課題

【7月15日】

- ・中止判断を直前まで待ち、実施できることを願ったが、前日の段階でボランティアスタッフが集合できない状況となった。判断をもう少し早めに調整しておいた方が良かった。

【9月8日】

- ・前後の班のタイム差をあまり考慮しておらず、先頭はゴール地点で40分程度待ち時間が長くなってしまった。その点の手立てや、工夫が必要である。
- ・全体を通して明確なイメージをスタッフ間でより深く共有をすることが必要だった。

【11月10日】

- ・3つの日程を同時に申込み開始としたことにより、第3回は申込んだ後に期間が空いたため、二次案内通知後のキャンセルが多かった。各回で申込み等検討が必要であった。